

連絡先：〒160-0023
東京都新宿区西新宿1-5-11新宿三葉ビル7F
社会保険労務士事務所NKサポート
電話：03-5322-4505 FAX：03-5322-4503
e-mail：info@e-606.net

●成人の約7割が「メタボ対策・体重管理」を意識(12月8日)

厚生労働省は、2009年の「国民健康・栄養調査」を発表し、成人男67.8%、成人女性75.6%がメタリックシンドロームの予防・改善のための体重管理を意識していることがわかった。実際に食事管理・運動をしている人は男女ともに30%を下回った。

●男性の育児休業取得率「2020年までに13%」政府目標(12月17日)

政府が「第3次男女共同参画基本計画」を発表し、男性の育児休業取得率を2020年までに13%とするなどの数値目標を設定したことがわかった。2009年の取得率は1.72%だった。

●介護職員の給与が月額約1万5,000円上昇(12月21日)

厚生労働省が介護職員の処遇改善状況を発表し、職員1人当たりの月額給与が今年6月までの1年間で平均1万5,160円増加したことが明らかとなった。昨年10月からスタートした「介護職員処遇改善交付金」の影響によるもの。

1月の税務と労務の手続
[提出先・納付先]
10日

○源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付

[郵便局または銀行]
○雇用保険被保険者資格取得届の提出<前月以降に採用した労働者がいる場合>

[公共職業安定所]

20日
○特例による源泉徴収税額の納付
<前年7月~12月分>
[郵便局または銀行]

31日
○法定調書<源泉徴収票・報酬等支払調書・配当剰余金調書・同合計表>の提出[税務署]
○給与支払報告書の提出<1月1日現在のもの>

[市区町村]
○労働者死傷病報告の提出<休業4日未満、10月~12月分>
[労働基準監督署]
○健保・厚年保険料の納付[郵便局または銀行]

当事務所より一言

モチベーションアップをはじめ、従業員の「心」の問題は現代企業においては最重要課題のひとつであるといえます。

設備等ハード面だけでなく、コミュニケーションを通じた人間関係の向上等ソフト面も、より改善していく必要があるでしょう。

そのような取組が継続できる企業こそ、優秀な人材の育成や確保ができ、業績アップにつなげることができるのではないのでしょうか。

転職活動の長期化で 転職者の気持ちは?

◆転職活動期間が長期化傾向に

株式会社リクルートが発表した「転職者の動向と意識に関する調査」(2010年7~9月期)の結果を発表しました。

この結果によれば、労働者の平均転職活動期間が調査開始以来最長の「5.7カ月」となったそうです。

◆転職者の活動状況

転職者の活動状況について、まず「応募する会社の数」については平均で23.4社となっています。転職先の業種別にみると「IT・通信系」の29.5社、職種別にみると「技術系(ソフトウェア・ネットワーク)」の30.4社が最多となっています。

次に「前職を辞めたタイミング」については、「転職先が決まる前に」が67.2%、「転職先が決まってから」が26.3%となっています。

そして、「転職活動の期間」については、調査開始以来、最長の平均5.7カ月となりました。転職先の業種別にみると「商社系(電機・電子・機械系)」の8.6カ月、職種別にみると「技術系(電機・電子・機械

系)」の7.2カ月がそれぞれ最長となっています。

◆転職者の気持ち

この調査では、転職が決まった人に対して最後に「転職活動を終えた今の気持ち」という質問をしています。その中からいくつか挙げておきます。

・「自分が新たな道で、新しい可能性を見出せる職場に出会えることができて、本当に転職をして良かった」

・「終わったというより、これから始まるという気持ち。ホッとするものの、より緊張する」

・「非常に厳しい現状を再認識した。これを良い経験とし、さらに頑張りたいと思う」

社員は「働きがい」を感じているか?

◆「働きがい」に関する意識調査の結果

株式会社NTTデータ経営研究所では、今年9月に「働きがいに関する意識調査」を行い、先日その結果が発表されました。

この調査では、「働きがい」、「働きがいをも高める要因/阻害する要因」、「心の疲弊感」などに関する質問を行っています。

◆「働きがい」は低下傾向に

まず、「現在、働きがいを感じていますか」との質問では、「感じている」(13.0%)との回答と「やや感じている」(39.4%)との回答を合わせると、52.4%の人が働きがいを感じていることがわかりました。

しかし、3年前と比べて「働きがいが高くなった」と感じている人(44.8%)は、「働きがいが高まった」と感じている人(22.5%)を大きく上回っています。

◆何が働きがいをも高め、阻害しているか

働きがいを感じているグループにおいて「働きがいをも高める要因」について、「仕事の価値の実感」(91.7%)、「仕事を通じての成長実感」(87.9%)、「仕事を通じての力の発揮」(86.3%)、「仕事に適性に合っている実感」(85.5%)、「仕事を通じて達成感」(78.2%)が上位を占めました。

逆に、働きがいを感じていないグループにおいて「働きがいをも阻害する要因」について、「会社での将来のキャリアイメージが描けない」(91.7%)、「会社では創造的な仕事を促す環境作りがない」

(86.1%)、「会社の仕組み・制度・組織が整備されていない」(79.9%)、「会社の経営陣による折に触れたビジョンの発信がない」(78.6%)、「会社の将来性がない」(78.4%)が上位を占めました。

◆社員の「モチベーションアップ」

また、「今の仕事をする中で、心の疲弊感を感じていますか」との質問に対しては、「心の疲弊感を感じている」と答えた人が約7割(69.7%)いることが明らかになりました。

会社全体として、社員一人ひとりの「モチベーションアップ」に貢献できることではないかを考えてみることも大事ではないでしょうか。

□■ 最近の動き

●再就職手当の支給率5~10%引上げを検討 厚生労働省(12月9日)

厚生労働省は、現在は失業手当の残りの受給日数分の40~50%相当額を支給している「再就職手当」について、来年度にも支給率を5~10%程度引き上げを検討していることを明らかにした。